

Basic Information / 基本情報 (ページ 2)

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2014年5月～7月

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

JCI TOKYO メンバー 25名

JCI ウランバートルセントラル メンバー 50名

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：〇〇市ボランティア団体等

後援：在日本モンゴル駐日大使館

後援：在モンゴル日本大使館

協力：ゾリックファンデーション

協力：株式会社週刊ベースボール・マガジン

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1万円なら one hundred dollar

7,000 USD

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目 (もしあれば)

説明：

なし

Who is benefited? 誰の為に？

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

ウランバートル市民120万人並びに東京都民1335万人

Objective 目的

説明：(例1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

JCI 東京は、恒久的な世界平和を実現する。

その為に JCI 東京は、「おもいやり」精神をグローバルモラリティーとして、世界に広める為に積極的に行動することを目的とした。

- ① ウランバートル市民と東京市民が、「おもいやり」精神を体験し、世界平和を実現する為に前向きな変化を創り出す。(POSITIVE CHANGE)
- ② 意識を変革した市民が、世界平和の実現に向けて行動する。(ACTIVE CITIZEN)

それらの行動が世界へ IMPACT を与える。

<目的補足>

「おもいやり」とは、相手の立場に自分自身を置き換え、お互いを受け入れること。世界平和の実現には、生まれ育った国や環境を超えた相互理解が必要不可欠である。世界との友情という JCI の強みを活かし、ボーダーを越えた企画を通じて「おもいやり」精神を世界に広める必要がある。

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

目的を達成する為に JCI TOKYO は、JCI ウランバートルセントラルとの共同プロジェクト「おもいやり精神を世界へ」を企画実行した。

- ・わんぱく相撲ウランバートル大会を開催した。
- ・わんぱく相撲ウランバートル大会で優勝した各カテゴリーの子供達が、東京で開催したわんぱく相撲全国大会にモンゴル代表として参加した。
- ・東京の子供達とウランバートルの子供達が、東京で開催した「おもいやり」相互理解プログラムを通じて友情を深めた。
- ・ボーダーを越えて、世界との友情を深め、おもいやり精神を深く理解した。
- ・TV やインターネットを通じて日本全国に放映され、市民に IMPACT を与えた。

わんぱく相撲とは、

日本の国技である「相撲」を子どもたちが以下の「おもいやり」精神を大切にして行うスポーツである。

- ・相手に敬意を表する、礼に始まる。
- ・相手に感謝する、礼で終わる。
- ・相撲というスポーツを通じて、勝者を讃え、敗者を敬う。

子ども達は試合を通じて「おもいやり」精神を理解する。

おもいやり精神を理解した子供たちが、メディア（TV生放送、新聞、インターネットニュース）を通じてウランバートル市民と世界平和への実現に向けて行動した。

Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

JCI 東京は、市民に世界平和実現に向けた活動のできる機会を提供した。その結果、世界平和を目指す ACTIVE CITIZEN を増やすことができた。

① 市民が、わんぱく相撲を通じて「おもいやり」精神を理解し行動することで POSITIVE CHANGE できた。

【参加者】

〈モンゴル ウランバートル〉

9歳～12歳の子供：207人

9歳未満の児童：55人。

子供達の父兄及び近隣住民：約500人

協力団体、メディアの観覧者：27人。

〈日本 東京〉

わんぱく相撲全国大会：8,500人

【参加者へのヒアリング結果】

●「おもいやり」精神を理解し表現できたと回答した。(約89%)

●「おもいやり」の精神が理解できなかった。(0%)

●その他(11%)

(理由)

・説明を聞いて理解できなかった。しかし、試合を経験して理解できた。

・他人の試合を見て理解できた。

・友達と話して理解できた。

・子供が一生懸命わんぱく相撲を取る姿を見て理解できた。

・JCI 東京と JCI ウランバートルセントラルのメンバーが協働している姿をみて理解できた。

・勝ち負けにこだわらず、お互いをリスペクトした姿を見て感動した。

【検証結果】

ヒアリングから、自らが体験すること、客観的に他の試合を見ることで「おもいやり」精神が確実に伝わり、POSITIVE CHANGE できたと考える。

② おもいやり精神を理解した子供たちが、メディアを通じてウランバートル市民と世界平和への実現に向けて行動した。(行動する ACTIVE CITIZEN へ)

・(1回目：わんぱく相撲ウランバートル大会開催前 TV 生放送 約30分)

・日本のわんぱく相撲大会の写真や映像を使用し「おもいやり」精神の説明を行った。

- ・わんぱく相撲ウランバートル大会の告知を行った。
(2回目：わんぱく相撲ウランバートル大会開催後 TV 生放送 約30分)
- ・わんぱく相撲ウランバートル大会において、優勝した子供たちと TV 出演した。
- ・わんぱく相撲ウランバートル大会の映像を使用し、子供達が TV スタジオで試合を再現しながら「おもいやり」精神の説明を行った。
- ・新聞5社
- ・インターネットニュース (文化観光スポーツ省、在モンゴル国日本大使館ほか)
- ・テレビニュース番組

◆検証結果

事業後の調査では、第二回わんぱく相撲ウランバートル大会の開催が決定した。多くの市民に共感された証明であり、**POSITIVE CHANGE** した子供達が **ACTIVE CITIZEN** となり、TV を中心に様々なメディアを活用し、世界平和の実現に行動できたと考える。

Actions Taken 行動

説明：

- 2013年8月～10月 本事業の企画立案会議 (6回開催)
- 2013年10月：JCI ウランバートルセントラルへ本事業の共同開催依頼
- 2013年11月：JCI ウランバートルセントラルとの合同会議
- 2014年1月～2月：両国政府、大使館への事業説明・後援依頼
- 2014年1月～3月：JCI 東京と JCI ウランバートルセントラルで個別に会議
- 2014年4月：JCI 東京と JCI ウランバートルセントラル合同会議
：本事業に関係する団体へ説明及び協力・協賛依頼、参加者募集を開始
- 2014年5月23日 TV 生放送への出演
- 2014年5月24日 事業1日目 わんぱく相撲ウランバートル大会の開催
- 2014年5月25日 事業2日目 わんぱく相撲ウランバートル大会の開催
- 2014年5月26日 TV 生放送への出演
- 2014年5月～6月 関係団体へのヒアリング調査
子供達のヒアリング結果の分析
- 2014年6月 JCI 東京と JCI ウランバートルセントラル合同会議
- 2014年7月 JCI 東京と JCI ウランバートルセントラル合同会議
- 2014年7月 わんぱく相撲ウランバートル大会各カテゴリー優勝者の来日
・東京青年会議所にて相互理解プログラムの開催

- ・国技館にて行われたわんぱく相撲全国大会への参加

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

JCI 東京と JCI ウランバートルセントラルが共同して、世界平和実現の為に活動することにより述べ9, 300名の両国の市民が「おもいやり」精神を理解することができた。そして世界平和を目指す ACTIVE CITIZEN を増やすことができた。

<わんぱく相撲ウランバートル大会>

- ・2日間の開催で、262人の子供達全員に「おもいやり」の気持ちを育む機会を提供できた。

・約800人の市民が参加し、わんぱく相撲を取る子供達の姿を見て「おもいやり」の気持ちを理解した。

JCI 東京が JCI ウランバートルセントラルメンバーと共に、自らが体験すること、客観的に試合を見ることで「おもいやり」精神がグローバルモラリティであることを確信した。

以下メンバーのコメント

「国境を越えて協働することでグローバルモラリティと言う新たな発見があった」
(JCI 東京メンバー)

「ウランバートル市民にも日本のおもいやり精神を伝えることができた」(JCI 東京メンバー)

「最初はルールも意味も分からなかったウランバートルの子供たちが最後は礼に始まり礼に終わることを体現していたことに感動した」(JCI 東京メンバー)

「日本のおもいやり精神の素晴らしさを理解できたことで JCI の絆を感じる事が出

来た」(JCI ウランバートルセントラル)

「相撲というスポーツは知っていたが、日本人の精神性に感動した」(JCI ウランバートルセントラル)

「子供達の姿を見て、身近なスポーツから世界平和につながる「おもいやり」を感じられた。意識が変わりました。」(JCI ウランバートルセントラル)

(理由) 以下のコメントをいただいた。

・モンゴル国 文化・スポーツ・観光大臣：Ms.Oyungerel Tsedevdamba

(コメント)

JCI 東京がウランバートルで、ウランバートルの同世代の JCI と共同開催してくれたことに感謝しています。試合を観戦しながら、子供達はもちろん、見ている大人達、そして運営に携わった皆様も含め、おもいやりの輪ができたと感じました。国際交流からこのような素晴らしい機会を作っていただき JCI 東京の皆様に感謝しています。ぜひ、おもいやりの気持ちを世界に広めてください。

・在モンゴル日本国大使館 全権大使：清水武則

(コメント)

日本の伝統文化である「相撲」を通じて、おもいやりの気持ちをウランバートルの皆様に伝えられる機会となり、大変感謝しています。見ているだけで、真剣さが伝わり参加した子供達が「おもいやり」という精神を理解していると感じると共に、観客の皆様にもおもいやりの気持ちが理解できた内容でした。

ページ 3

部門 Best Local OMOIYARI Project

Objectives, Planning, Finance and Execution 目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？

JCI 東京は、恒久的な世界平和を実現する。その為に JCI 東京は、「おもいやり」精神を積極的に世界に広める行動をする。

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？

JCI 東京は、市民に世界平和に必要な「おもいやり」の気持ちを体験、理解する機会を提供した。

JCI 東京は JCI ウランバートルセントラルとのパートナーシップを築き協働することで世界平和の実現を目指した。その結果、市民の意識を **POSITIVE CHANGE** させ、世界平和を目指す **ACTIVE CITIZEN** を増やすことができた。

この活動は、JCI 活動計画の「既存の会員のみならず、JCI の活動によって影響をうけるであろう将来会員になる可能性がある人々、パートナー、および利害関係者に、JCI ミッション、ビジョン、バリューに関する更なる理解を浸透させること」に一致する。

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算計画は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？

予算以外の支出はなし。

<内訳>

会場費：協賛会社より提供

企画費：3, 275 USD

広報費：730 USD

資料費：88 USD

保険費：210 USD

輸送費：2, 308 USD

消耗品：389 USD

協賛金等：共同開催した JCI ウランバートルセントラルが中心となり、モンゴル国内企業10社から協賛を得た（必要物品、広報協賛）。

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業は JCI のミッションとヴィジョンを推進しましたか？

<JCI MISSION>

JCI 東京は、ウランバートル市民がおもいやりの気持ちを理解し、世界平和を実現するキーワードになるということを理解する POSITIVE CHANGE の機会を作った。POSITIVE CHANGE したウランバートルの子供達と東京の子供達が、相互理解を深め、友情が芽生えることで世界平和へ行動する ACTIVE CITIZEN となり JCI ミッションを推進した。

<JCI VISION>

JCI 東京と JCI ウランバートルセントラルは、それぞれが地域社会のリーダーとして国際的ネットワークという強みを活かし、グローバルネットワーカーとなり、ボーダーを越え世界平和の実現の為に、率先して行動した。

ウランバートル市民に、世界平和の実現には、おもいやりの気持ちを持った行動が重要であると理解させ ACTIVE CITIZEN を増やし JCI ビジョンを推進した。

※画像4つ必要

ページ4

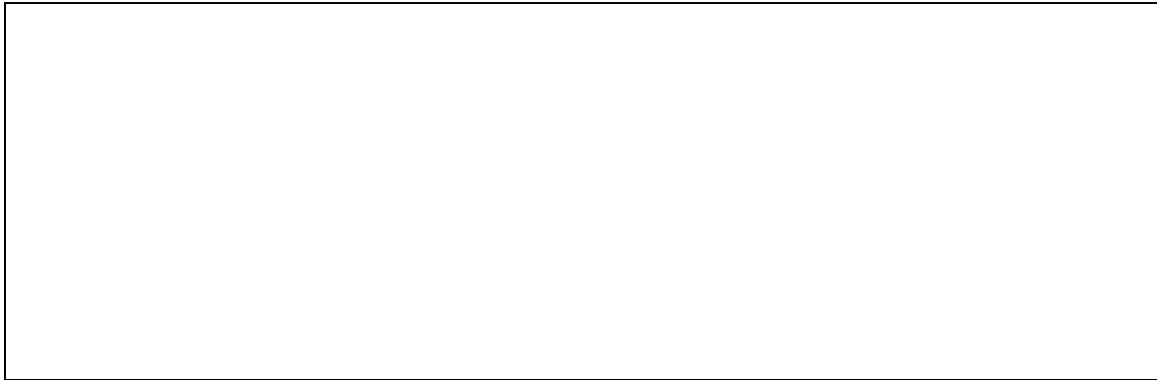
Cooperation for the Sake of World Peace 世界平和のための協力

How did this project extend the presence of peace in your community?

どのように、このプロジェクトは、あなたのコミュニティで平和の存在を広げましたか？

JCI 東京は以下のことを行うことにより平和の存在を広げた。

- ① 地域（東京）と地域（ウランバートル）のリーダーである JCI 東京と JCI ウランバートルセントラルがボーダーを越え、世界平和の為に共同開催した。
- ② おもいやりからお互いの国を理解することで世界平和には思いやりの気持ちが重要なことを PR できたことで、地域に平和の存在を広げた。



How was cooperation used to promote peace?

どのように、協力は平和を進めるのに用いられましたか？

お互いに異なる文化のもとで協働したことで相互理解が進み、世界平和の実現に向けたグローバルモラリティが浸透した。

※画像4つ必要

ページ5

Community Impact 地域社会への影響

What was the intended community impact?

事業実施によって、意図されたコミュニティへの影響は、何でしたか？

- ① ウランバートル市民と東京市民が、「おもいやり」精神を体験し、世界平和を実現する為に前向きな変化を創りだす。(POSITIVE CHANGE)
 - ② 意識を変革した市民が、世界平和の実現に向けて行動する。(ACTIVE CITIZEN)
- それらの行動が世界へ IMPACT を与える。

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際のコミュニティへの影響を記述してください

- ① モンゴル政府、日本国政府、それぞれの地方行政と JCI 東京、JCI ウランバートルセントラルとの接点が強化された。
- ② ウランバートルの子供達と東京の子供達の友情を結ぶ懸け橋となった。
- ③ 多くのウランバートルの市民に JCI 東京の存在が認知され、多くの東京都民に JCI ウランバートルセントラルの存在が認知され、世界との友情を身近に感じることに繋がった。

※画像4つ必要

ページ6

Impact on Local Organization LOM への影響

How did the Local Organization benefit from running this project?

どのように、LOMは、このプロジェクトを運営することから利益を得ましたか？

- ① JCI 東京は、JCI ウランバートルセントラルと共同開催をしたことで、LOM の垣根を越えメンバー同士に友情が芽生えた。
- ② 私たち自身が「おもいやり」を持ってウランバートルでの事業運営を心掛けたことで、モンゴル政府や駐モンゴル日本大使館等の政府関係から称賛され、TV 出演のオファーや取材等を通じてウランバートル市内に IMPACT を与えた。
- ③ JCI 東京の運動が歓迎され、来年度は同様の事業を JCI ウランバートルセントラルが単独で開催する土壌ができた。(JCI 東京は協力)
- ④ ボーダーを越えて JCI 東京の存在を示すことになり、私たちのブランドを高める機会となった。

How did the program advance the JCI Mission?

どのように、この事業は JCI ミッションを促進しましたか？

JCI 東京は、ウランバートル市民がおもいやりの気持ちを理解し、世界平和を実現するキーワードになるということを理解する POSITIVE CHANGE の機会を作った。POSITIVE CHANGE したウランバートルの子供達と東京の子供達が、相互理解を深め、友情が芽生えることで世界平和へ行動する ACTIVE CITIZEN となり JCI ミッションを促進した。

※画像4つ必要

ページ7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？

- ① 市民が、わんぱく相撲を通じて「おもいやり」精神を理解し行動することで **POSITIVE CHANGE** できた子供たちが、メディアを通じてウランバートル市民と世界平和への実現に向けて行動し続ける。
- ② 国境を越えて市民ひとりひとりがグローバルモラルティである「おもいやり」精神がムーブメントを起こし **IMPACT** を与える。

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

- ① ウランバートルセントラルとの協働においては、まずは継続を目標としモンゴル国内すべての **LOM** に波及させることで「おもいやり伝道師」になる。
- ② 世界平和を実現するためには一国にとどまらず同様のプログラムを他国の **LOM** と協働開催することで「おもいやり」精神を世界に広げることができる。

※画像4つ必要